

資料編

事務事業評価シート(対象:R1年度実施事業)

事務事業名 基幹系情報処理業務管理事務		所属コード 1101010		位置付け		主要事業		総合戦略		市長公約	
		部 企画財政部		実施主体		●市		県		国	
施策の柱(章) 6 新公共経営		課 企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当		継続年数		5年以下		6～10年		●11～15年	
大施策(節) 3 健全で計画的・効率的な行政の体制づくり		係・担当 情報化推進担当		根拠法令等		●有		[IT基本法、e-Japan重点計画、IT新改革戦略]		16年以上	
基本施策 3 行政事務の電子化		担当者名 浅見 恵一		内線 311		■全市民		市民の一部		内部職員	
予算科目 会計 01 款 2 項 1 目		事業 3		事業の対象		その他		[		]	

事業目的 ・住民サービスの向上を目指し、行政事務の基幹系情報処理業務の正確で安定した運用を図る。	事業概要 ・基幹系情報処理業務は、従来の職員直営型の情報処理業務を外部委託するとともに、自治体クラウド型サービスを利用する。	

単位：円		事業の実施状況（見込み）			
事業費(A) 委員報酬 物件費 業務維持補修費 費の補助費 内普通建設事業費 その他 国庫支出金 財源の県支出金 市内債 その他 一般財源	事業費(A)	平成30年度			
		127,142,266			
		127,142,266			
		148,277,000			
		143,394,302			
		143,394,302			
		148,277,000			
		143,394,302			
		148,277,000			
		143,394,302			
職員数(人/年) 職員人件費(B) 総事業費(A+B) 人件費率(B/(A+B)) 予算執行率(職員人件費除く)	職員数(人/年)	令和元年度			
		0.95			
		7,471,750			
		134,614,016			
職員数(人/年) 職員人件費(B) 総事業費(A+B) 人件費率(B/(A+B)) 予算執行率(職員人件費除く)	職員数(人/年)	令和2年度			
		0.95			
		7,471,750			
		155,748,750			
職員数(人/年) 職員人件費(B) 総事業費(A+B) 人件費率(B/(A+B)) 予算執行率(職員人件費除く)	職員数(人/年)	令和3年度			
		0.95			
		7,471,750			
		155,748,750			

活動指標名		単位		成果指標名		単位		平成30年度		令和元年度	
	計画									目標	
	実績									実績	
	計画									目標	
	実績									実績	

事務事業評価シート(対象:R1年度実施事業)

事務事業名		所属コード		1702000		位置付け		■主要事業		総合戦略		市長公約	
雨水整備事業				建設部		実施主体		●市		県		国	
施策の柱(章)		5 都市基盤・環境		課		下水道課		5年以下		6～10年		11～15年	
大施策(節)		6 治水と水循環によるまちづくり		係・担当		計画・工務係		継続年数		根拠法令等		有 [都市計画法、下水道法]	
基本施策		1 治水対策の推進		担当者名		中根 健文		内線 263		事業の対象		■全市民	
予算科目		会計 03 款		項 2		目 1		事業 2		市民の一部		内部職員	
										その他 [			

事業目的		事業概要	
・内水排除機能を向上させ、安全で快適な都市環境を形成するため、雨水幹線、八潮南部地区内の雨水管、市内ポンプ場の整備を行う。		・雨水整備：葛西幹線の外、中川の河川改修に合わせた幹線等の段階的な整備 ・南部雨水整備：南部地区内の雨水管の整備 ・ポンプ場整備：中川の河川改修に合わせたポンプ場の整備	

単位：円		H30決算	R1予算	R1決算	R2予算
事業費 (A)		181,906,225	322,466,000	244,925,310	1,164,655,792
事業費の内訳	委員報酬				
	物件費				
	維持補修費				
	扶助費				
	補助費等				
普通建設事業費		181,906,225	322,466,000	244,925,310	1,164,655,792
その他					
財源の内訳	国庫支出金	32,550,000	79,950,000	79,900,000	493,400,000
	県支出金				
	市債	32,500,000	119,200,000	152,420,000	599,500,000
	その他	8,457,453	1,600,000		1,600,000
	一般財源	108,398,772	121,716,000	12,605,310	70,155,792
職員数 (人/年)		0.76	0.76	0.76	0.76
職員人件費 (B)		5,931,764	5,977,400	5,977,400	5,836,040
総事業費 (A+B)		187,837,989	328,443,400	250,902,710	1,170,491,832
人件費率 (B/ (A+B))		3.2%	1.8%	2.4%	0.5%
予算執行率 (職員人件費除く)		—	—	76.0%	—

事業の実施状況 (見込み)	
平成 3 0 年度	・葛西排水区の雨水幹線築造工事 (L=46.0m)を完成した。 ・鳥内排水区の管渠等 (L=720.0m)の実施設計と地質調査を行った。
令和元年度	・伊勢野排水区の雨水管渠 (L=105.0m)の実施設計と地質調査を行った。 ・南部地区内の雨水管渠工事 (L=166.7m)を完成した。
令和2年度	・鳥内排水区の雨水管渠工事を行う。 ・葛西排水区の雨水幹線築造工事を行う。 ・西袋排水区の雨水幹線の実施設計を行う。 ・南部地区内の雨水管渠工事を行う。

活動指標名		単位	平成30年度	令和元年度	成果指標名		単位	平成30年度	令和元年度
雨水整備延長	k m	計画	0.9	0.4	雨水整備率	%	目標	48.6	49.3
		実績	0.46	0.17			実績	48.2	48.7
ポンプ場整備	箇所	計画	0		ポンプ排水能力	m³/S	目標	0	
		実績	0				実績	0	

■事業の評価 (R1年度の事後評価)

①必要性の評価			評価者名	岡田 亨
当該事務事業について市が関与する必要性				
	A:非常に高い	● B:高い		C:ある程度認められる
判断理由	■	法律、政令、省令、通達等により、市に実施が義務づけられている		
	■	事業を止めた場合、市民の生命、財産等に大きな影響を与える恐れがある		
	■	サービスの拡大や充実を求める市民意見・要望が増えている		
	■	市が何らかの関与（監督、指導等）をしないと、問題が発生する可能性がある		
	■	当該事務事業が解決すべき課題が増えている。増えることが予想される その他		

②目標達成度の評価				
R1年度の目標達成度				
	A: 達成した(100%)	● B: 概ね達成できた(80%以上)		C: 達成できなかった(80%未満)
判断理由		活動指標の目標を達成した		成果指標の目標を達成した
	■	業務改善方針等の指標に現れない目標を達成した		
	達成できた内容／できなかった内容・理由(必ず記入)			
	・ 国庫補助金活用事業の予算配分変更により、葛西排水区の雨水幹線工事は、計画に達しなかったが、八潮南部西一体型区画整理事業の管渠工事を実施できた。			

③実施内容・方法の評価			
成果向上やコスト削減のための見直しの余地			
	余地が大きい	● 余地がある	余地が全くない
判断理由	■	民間委託や指定管理者制度の活用などの事業手法を再検討する余地がある	
	■	事業費や人件費などのコストを圧縮する工夫が考えられる	
	■	業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化することが考えられる	
	■	社会情勢やニーズの変化等により、サービスの対象・量・水準を見直すことが考えられる	
	■	成果を高める工夫が考えられる その他	

④公平性の評価				
i. 受益者が一部に偏っているか				
	偏りがある	やや偏りがある	偏りが無い	● 非該当
ii. 受益者負担の見直しの余地				
	余地がある	余地がない	受益者負担がない	非該当
判断理由		使用料・手数料等の料金設定を市で行うことができる		
		国や県、民間事業者等が同種・類似サービスを提供している		
		受益者の負担割合が国等の定めている基準を下回っている		
		使用料・手数料等の見直しから5年以上経過している		

■計画期間を通じての課題と対応策

課題	評価時点で認識されている問題・課題		
	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
考えられる 対応策	・南部雨水整備は、土地区画整理事業の進捗により計画通りの 事業執行ができない。 ・ポンプ場整備は、多額の経費を要する。また、計画・設計段 階から専門的知識を有している技術者が必要となる。		
	・土地区画整理施行者と再度事業調整を行い、南部雨水整備の 施工場所等の調整を行う。 ・国庫補助金の導入を図る。また、技術者の不足を外部委託等 で補う必要がある。		

■総合評価 (最終目標に対する進捗状況)

☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）
☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

総合評価	判断理由
☆☆ 概ね順調	・国庫補助金活用事業の予算配分変更により、活動指標及び 成果指標は目標を下回ったが、土地区画整理施行者からの 要望2箇所の整備を行うことができた。

■今後の方向性(計画期間を通じての方向)

方向性	●：現状のまま継続 ：見直して継続	：休止・廃止 ：他事業と統合して継続	：終了・完了		
	→	重点化（拡充）	手段を改善	効率・簡素化	その他
	事業費	●増加	現状維持	削減	
経営資源 (R2年度比)	労働量	●増加	現状維持	削減	
今後の 実施方針 (改善方針)	・関係機関と調整を図り、整備を効率的、効果的に行う。 また、事業実施について課題となる財源、技術者の不足に ついて、国庫補助金の導入や外部委託等で対応していく。				

年次事業評価シート（指定管理者の業務に係る事業の評価）

【施設の概要】

所管課名	保育課
施設名	八潮市立はちじょうきた学童保育所
施設所在地	八潮市大字八條1150
設置の目的	児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業を行うため
指定管理者	特定非営利活動法人 TSUKUSHINBOUZ
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和4年3月31日
評価期間	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日
指定管理者に求めるもの	多様化する住民のニーズに効率的に対応し、保育のサービスの向上を図ること。

【指定管理者が行う主な業務の内容】

(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務
(2) 学童保育所の入所の承諾に関する業務
(3) 学童保育所の施設及び設備の維持管理に関する業務
(4) (1)～(3)に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

【管理経費の収支状況】

		直営最終年度	平成30年度	令和元年度	比較(R1-H30)
収入(円)	管理料	-	6,444,000	8,664,000	2,220,000
	利用料金収入	-	1,944,305	1,932,396	▲11,909
	その他	-	3	2	▲1
	前期繰越	-	540,699	648,961	108,262
支出(円)	運営費	-	1,105,625	1,098,308	▲7,317
	人件費	-	6,810,657	8,621,970	1,811,313
	維持管理費	-	363,764	444,634	80,870
収支(円)		-	648,961	1,080,447	431,486

※詳細は別添「自己評価表」参照

【施設の利用状況】

	平成30年度	令和元年度	比較(R1-H30)
開館日数(日)	288	288	
登録児童者数(人)	20	20	

※詳細は別添「自己評価表」参照

【活動指標】（事務事業評価から引用）

	単位		平成30年度	令和元年度
学童保育所入所定員の増加	人	計画	570	580
		実績	570	580

【成果指標】（事務事業評価から引用）

	単位		平成30年度	令和元年度
学童保育所入所児童数（年間延べ人数）	人	計画	6,720	6,840
		実績	6,252	6,867

【利用者満足度調査結果】（抜粋）

	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	非常に不満	合計
指定管理者に対する評価(総合評価)(人)	7	3	1	0	0	11
割合(%)	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%
利用者満足度指数	4					

【サービスの向上】(指定管理者が運営を行うことによりサービスが向上したものについて記述)

長期休みには、映画鑑賞会やスポーツ大会等を行っている。また毎年、平和の学習を目的として朗読劇を行っている。

【年次事業評価結果】

※評価が「C」の場合は、その改善策等を特記事項に記入する。

評価項目		評価方法	確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容					
①開館時間					
開館予定日、開館時間は守られているか	開館日数、時間数が守られていたか関係書類により確認する		・開所日数288日 ・開所時間 平日13:00～18:30 1日保育時8:00～18:30	A	
②管理体制に関する事項					
業務を遂行するための必要な職員は確保されているか	職員の配置を就労関係書類などにより確認する		・職員の人数：5人 ・市の条例に基づき利用者10人当たり1人以上の配置をしている。	A	
業務の処理に適した執行体制や処理過程におけるチェック機能が確保されているか	体制の状況について現状を確認する 業務処理を確認できる各種規定などにより確認する		児童の保育を安全に行うため、気になる児童に対して加配の職員を置くなどの体制をとっている。	A	
業務に従事する職員は、関係法令を遵守しているか	研修会の開催等関係書類により確認する		法令を遵守し、運営を行っており、市内・県内の研修にも参加している。	A	
③個人情報の保護					
八潮市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱われているか	条例違反の有無について関係書類やヒアリングにより確認する		・条例違反は確認されていない。 ・個人情報に関わる書類・外部記録媒体のUSBメモリは、鍵のかかるキャビネットで保管している。	A	
個人情報の管理及び取り扱いに係るマニュアル等の作成がなされているか	作成状況及びその内容について確認する		マニュアルが整備され、適正に管理されている。	A	
④利用者への対応及びサービス等の向上					
事業計画に基づいた行事は行われているか	関係書類等により確認する		別紙の事業報告書から確認を行い、計画通り実施されていた。	A	
利用者へのアンケート調査などを実施し、自己分析や業務改善を行っているか	関係書類等により確認する		・期間：令和2年1月10日～1月24日 ・回答数：12件 ・事業報告書において自己分析を行い課題を挙げている。	A	利用者満足度調査では、特に意見はなかった。
市民からの苦情等のトラブルの対応は適切に行われているか	関係書類等により確認する		利用者の苦情等には適切に対応しており、大きなトラブルはなかった。	A	
職員育成のための研修は行われているか	関係書類等により確認する		放課後児童支援員認定資格研修などの外部の研修も受講している。	A	

評 価 項 目		確 認 結 果 (具体的な確認事項、根拠)	評 価	特 記 事 項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
⑤利用許可業務				
利用料金は適正に設定されているか	利用料金が市と協議した設定となっているか確認する	・利用料：月額9,000円 ・市の規則の基づき適正に徴収されている。	A	
利用料金の減免の手続きは適正に行われているか	関係書類等により確認する	市の規則に基づき減免を適正に行われている。 ・生活保護法における被保護者：全額免除 ・ひとり親家庭等医療費の受給世帯：1/2の減額 ・同一世帯において2人以上の入所児童が存する世帯：1,000円減額	A	
利用料金の徴収は適正に執行されているか	利用料金の徴収が適正に執行されているか確認する	収納管理簿にて適正に執行されていることを確認した。	A	
利用者の公平な選考を行っているか	事業計画及び関係書類により現状を確認する	八潮市学童保育所設置及び管理条例施行規則によって、公平な選考が行われている。	A	
⑥施設設備及び物品の維持管理				
各部の施設維持管理が良好な状態に維持されているか	正常に維持されているか、保守点検や修繕の状況について関係書類及び現状を確認する	関係書類の記録簿を確認。1年に2回は施設整備の点検をし、市に報告している。	A	
施設の改修・修繕は市と協議の上で行われているか	修繕の箇所、経緯について関係書類を確認する	施設に修繕などが必要な不具合があった場合、市と協議をし、正常に維持されている。	A	
施設の保安管理が適切に行われているか	施設の警備状況について関係書類及び現状を確認する	・施錠責任者を決め適切に施錠ができている。 ・警備会社 アルソックと契約を締結している。施錠後に侵入者があった場合、警備員が見回りを行う契約となっている。	A	
清掃業務等が適切に行われているか	業務範囲が的確に処理されているか関係書類により確認する	・平日は児童が登所する前に清掃を行っている。 ・一日保育日は児童が外遊びをしているときなどに清掃を行っている。施設内は清潔に保たれていた。	A	
安全衛生管理に配慮した業務運営、管理がされているか	施設の安全衛生管理の状況について関係書類及び現状を確認する	職員全員の健康診断を行っていた。	A	
物品（備品）の管理は適切に行われているか	台帳により確認	市の備品については備品台帳で管理しており、年に1回備品の目視確認を実施している。	A	

評価項目		確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
⑦経費の執行管理				
経費を効率的に運用する工夫はされているか	関係書類やヒアリングにより確認する	施設内を常に整頓するなどし、無駄なものが増えないようにしている。	A	
経費を適正に執行管理するための体制が確保されているか	体制の状況について現状を確認する	経費の執行を行う際、職員間で事前打ち合わせ、事後確認をすることで管理体制を確保している。	A	
資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか	経理内容について帳簿及び関係書類により確認する	経理内容に具体的な記載があり、明確化が図られている。	A	
経費に係る経理規程等の整備が行われているか	作成状況及びその内容について確認する	規定を整備しており、不足はなかった。	A	
⑧その他の事項				
業務の一括委託などは行われていないか	委託契約書等の関係書類で確認する	一括委託は行われていない。（警備業務は委託）	A	
賠償保険に加入しているか	保険証書等により賠償保険の保険内容等を確認する	傷害保険・賠償保険に加入している。	A	
【指定管理者自己評価及び業務改善に向けた分析】				
(1) 指定管理者自己評価				
・引き続き、利用者の意見を受け止め、改善に努めたい。 ・一日保育の開所時間を早めてほしいとの要望があった。				
(2) 業務改善に向けた分析				
一日保育の開所時間を検討していく。				
【所管課所見】				
良好に管理運営しており、引き続き保育の充実に努められたい。				
総合評価			A	

年次事業評価シート（指定管理者の業務に係る事業の評価）

【施設の概要】

所管課名	保育課
施設名	八潮市立どんぐり学童クラブ
施設所在地	八潮市緑町4-1-1
設置の目的	児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業を行うため
指定管理者	特定非営利活動法人 八潮市学童保育・子どもの遊び場ネットワーク
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和4年3月31日
評価期間	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日
指定管理者に求めるもの	多様化する住民のニーズに効率的に対応し、保育のサービスの向上を図ること。

【指定管理者が行う主な業務の内容】

(1)	放課後児童健全育成事業の実施に関する業務
(2)	学童保育所の入所の承諾に関する業務
(3)	学童保育所の施設及び設備の維持管理に関する業務
(4)	(1)～(3)に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

【管理経費の収支状況】

		直営最終年度	平成30年度	令和元年度	比較(R1 - H30)
収入(円)	管理料	-	7,782,000	9,154,000	1,372,000
	利用料金収入	-	5,036,697	5,414,650	377,953
	その他	-	40	42	2
	前期繰越	-	4,810,744	4,650,129	▲160,615
支出(円)	運営費	-	3,295,153	3,322,113	26,960
	人件費	-	8,608,955	11,852,674	3,243,719
	維持管理費	-	852,994	760,441	▲92,553
	その他	-	222,250	18,000	▲204,250
収支(円)		-	4,650,129	3,265,593	▲1,384,536

※詳細は別添「自己評価表」参照

【施設の利用状況】

	平成30年度	令和元年度	比較(R1 - H30)
開館日数(日)	288	293	5
登録児童者数(人)	66	66	

※詳細は別添「自己評価表」参照

【活動指標】（事務事業評価から引用）

	単位		平成30年度	令和元年度
学童保育所入所定員の増加	人	計画	570	580
		実績	570	580

【成果指標】（事務事業評価から引用）

	単位		平成30年度	令和元年度
学童保育所入所児童数（年間延べ人数）	人	計画	6,720	6,840
		実績	6,252	6,867

【利用者満足度調査結果】（抜粋）

	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	非常に不満	合計
指定管理者に対する評価(総合評価)(人)	12	12	7	2	2	35
割合(%)	34.3%	34.3%	20.0%	5.7%	5.7%	100.0%
利用者満足度指数	3					

【サービスの向上】(指定管理者が運営を行うことによりサービスが向上したものについて記述)

お泊り会や学童まつり、花やしきへの遠足などの行事を開催している。

【年次事業評価結果】

※評価が「C」の場合は、その改善策等を特記事項に記入する。

評価項目		確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
①開館時間				
開館予定日、開館時間は守られているか	開館日数、時間数が守られていたか関係書類により確認する	・開所日数293日 ・開所時間 平日13:00～18:30 1日保育時8:00～18:30	A	
②管理執行体制に関する事項				
業務を遂行するための必要な職員は確保されているか	職員の配置を就労関係書類などにより確認する	・職員の人数：7人 ・職員の配置人数が不足している日が見受けられた。登所する児童の人数と職員の人数を把握し、適切に配置するよう指導し、改善されたことを確認した。	B	
業務の処理に適した執行体制や処理過程におけるチェック機能が確保されているか	体制の状況について現状を確認する 業務処理を確認できる各種規定などにより確認する	毎日の出欠確認時の健康観察や、保護者への緊急連絡メールの整備等、適切な対応が取れるよう確保されている。	A	
業務に従事する職員は、関係法令を遵守しているか	研修会の開催等関係書類により確認する	法令を遵守し、運営を行っており、市内・県内の研修にも参加している。	A	
③個人情報の保護				
八潮市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱われているか	条例違反の有無について関係書類やヒアリングにより確認する	・条例違反は確認されていない。 ・個人情報に関わる書類は鍵のかかるロッカーで保管している。	A	
個人情報の管理及び取り扱いに係るマニュアル等の作成がなされているか	作成状況及びその内容について確認する	マニュアルが整備され、適正に管理されている。	A	
④利用者への対応及びサービス等の向上				
事業計画に基づいた行事は行われているか	関係書類等により確認する	別紙の事業報告書から確認を行い、計画通り実施されていた。	A	
利用者へのアンケート調査などを実施し、自己分析や業務改善を行っているか	関係書類等により確認する	・期間：令和2年1月10日～1月24日 ・回答数：36件 ・事業報告書において自己分析を行い課題を挙げている。	A	利用者満足度調査で意見の多かった床の修繕を令和2年度に実施した。
市民からの苦情等のトラブルの対応は適切に行われているか	関係書類等により確認する	利用者の苦情等には適切に対応しており、大きなトラブルはなかった。	A	
職員育成のための研修は行われているか	関係書類等により確認する	放課後児童支援員認定資格研修などの外部の研修も受講している。	A	

評 価 項 目		確 認 結 果 (具体的な確認事項、根拠)	評 価	特 記 事 項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
⑤利用許可業務				
利用料金は適正に設定されているか	利用料金が市と協議した設定となっているか確認する	・利用料：月額9,000円 ・市の規則の基づき適正に徴収されている。	A	
利用料金の減免の手続きは適正に行われているか	関係書類等により確認する	市の規則に基づき減免を適正に行われている。 ・生活保護法における被保護者：全額免除 ・ひとり親家庭等医療費の受給世帯：1/2の減額 ・同一世帯において2人以上の入所児童が存する世帯：1,000円減額	A	
利用料金の徴収は適正に執行されているか	利用料金の徴収が適正に執行されているか確認する	管理簿にて適正に執行されていることを確認した。	A	
利用者の公平な選考を行っているか	事業計画及び関係書類により現状を確認する	八潮市学童保育所設置及び管理条例施行規則によって、公平な選考が行われている。	A	
⑥施設設備及び物品の維持管理				
各部の施設維持管理が良好な状態に維持されているか	正常に維持されているか、保守点検や修繕の状況について関係書類及び現状を確認する	関係書類の記録簿を確認。1年に2回は施設整備の点検をし、市に報告している。	A	
施設の改修・修繕は市と協議の上で行われているか	修繕の箇所、経緯について関係書類を確認する	施設に修繕などが必要な不具合があった場合、市と協議をし、正常に維持されている。	A	令和2年度に床の修繕を実施した。
施設の保安管理が適切に行われているか	施設の警備状況について関係書類及び現状を確認する	・施設責任者を決め適切に施設ができている。 ・警備会社 アルソックと契約を締結している。施設後に侵入者があった場合、警備員が見回りを行う契約となっている。	A	
清掃業務等が適切に行われているか	業務範囲が的確に処理されているか関係書類により確認する	・平日は児童が登所する前に清掃を行っている。 ・一日保育日は児童が外遊びをしているときなどに清掃を行っているっており、施設内は清潔に保たれていた。	A	
安全衛生管理に配慮した業務運営、管理がされているか	施設の安全衛生管理の状況について関係書類及び現状を確認する	職員全員の健康診断を行っていた。	A	
物品（備品）の管理は適切に行われているか	台帳により確認	市の備品については備品台帳で管理しており、年に1回備品の目視確認を実施している。	A	

評価項目		確認結果 (具体的な確認事項、根拠)	評価	特記事項 現地確認事項
業務履行内容	評価方法			
⑦経費の執行管理				
経費を効率的に運用する工夫はされているか	関係書類やヒアリングにより確認する	施設内を常に整頓するなどし、無駄なものが増えないようにしている。	A	
経費を適正に執行管理するための体制が確保されているか	体制の状況について現状を確認する	経費の執行を行う際、職員間で事前打ち合わせ、事後確認をすることで管理体制を確保している。	A	
資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか	経理内容について帳簿及び関係書類により確認する	経理内容に具体的な記載があり、明確化が図られている。	A	
経費に係る経理規程等の整備が行われているか	作成状況及びその内容について確認する	規定を整備しており、不足はなかった。	A	
⑧その他の事項				
業務の一括委託などは行われていないか	委託契約書等の関係書類で確認する	一括委託は行われていない。（警備業務は委託）	A	
賠償保険に加入しているか	保険証書等により賠償保険の保険内容等を確認する	傷害保険・賠償保険に加入している。	A	
【指定管理者自己評価及び業務改善に向けた分析】				
(1) 指定管理者自己評価				
利用者満足度結果の「今後、当施設を利用したいか」という設問で、回答があったほとんどの世帯が継続希望の中、施設の整備についての不満があるが、施設の老朽化によるものだと思います。毎日の清掃にも気を付け、不満がある部分に対しては常に気を配っていく。				
(2) 業務改善に向けた分析				
利用者満足度結果の「従前との比較」という設問では、昨年度3.66、今年度3.88と数値が上がった。何か問題が起きた際には、迅速に職員・保護者・子どもたちと話し合える雰囲気をこれからも維持していく。職員が長く働き続けるとともに、保育に関する研修を重ね、保護者の信頼を得るように努力していく。				
【所管課所見】				
利用者満足度調査によれば、総合平均は「4.25」であることから、全体としては満足度が高いことがうかがえるが、「施設管理者に対する評価」では、「不満」や「非常に不満」との回答もあることから、利用者のニーズを把握し、適切な対応に努めていただきたい。				総合評価
				B

平成26年度八潮市行政評価における外部評価報告書（抜粋）

番 号	7		
事 業 名	雨水幹線整備事業	担 当 課	下水道課
事業目的	・下水道（雨水）幹線の整備を行い、治水安全度の向上を図り、安全で快適な都市環境を形成する。		
事業概要	・下水道（雨水）幹線の整備を行う。		

（１）事業の評価に対する評価

必要性、目標達成度、実施内容・方法及び公平性の評価項目について、外部評価委員が５段階評価を行った結果は、次のとおりである。

評価項目	担当課の評価	委員会の評価 (平均点)	委員会の点数内訳（５段階評価）				
			５点	４点	３点	２点	１点
①必要性	高い	4.4	3人	1人	1人		
②目標達成度	達成できなかった	3.2	1人	1人	2人		1人
③実施内容・方法	余地がある	3.4	1人	1人	2人	1人	
④公平性	余地が全くない	4.2	2人	2人	1人		

（２）総合評価に対する評価

担当課の総合評価（最終目標に対する進捗状況）である「概ね順調」に対して、本委員会が適切であるかについて評価したところ、４点が１人、３点が２人、２点が２人の合計１４点となり、「C：概ね適切な評価」であった。

(3) 事務事業評価に対する主な意見

- ① 市民の安全のために必要な事業であるため必要性の評価は妥当である。
- ② 市に実施が法的に義務付けられていること、市民の生命・財産等に大きな影響を与える恐れがあること、まさに「公共事業」であり、民間が行うことではないことなどを考えると、必要性は「非常に高い」とした方が良いように思われる。
- ③ 活動指標については適切である。また、成果指標についても本来は「浸水回数」等にすべきであるが、その指標が天候等に左右されやすいものであり、指標として提示することが困難であることから、整備率を設定したとの説明があった。非常に適切な指標である。また、年度ごとの工事完成ができていないようであり、「目標を達成できなかった」との評価は適切である。
- ④ 国の補助金を最大限活用しつつも、コスト削減の工夫を考えていることから実施内容・方法の「余地がある」という評価は適切である。
- ⑤ 雨水＝公費／汚水＝私費ということから、本事業については、受益者負担の見直しの余地がないと理解した。むしろ、「非該当」という評価でもよいと思われる。
- ⑥ 担当する部署としては、やるべきことはやっており、獲得できた予算の枠の中で進められることは理解できる。しかし、年度を繰り越した工事が続いており、最終完成年度の見直しが必要となっているということは、「遅れ」として評価すべきであろう。
- ⑦ 総合評価で「概ね順調」としている点は目標達成度の評価と矛盾し、納得しかねる。最終目標を達成することが難しいことも認識されているので、「遅れ」と評価するべきではないか。

(4) 今後の方向性について

担当課の今後の方向性は、「現状のまま継続」であるが、本委員会の意見としては、「現状維持」が多く、「重点化」の意見もあった。このことから、現在の事業内容を維持しつつ、重点化についても検討してほしい。

(5) 当該事業に対する主な意見

- ① 国の補助金等調整が難しい問題もあり、整備スケジュールの変更や見直しによる繰越工事は概ね理解できる。
- ② 必要となる予算の規模が大きく、思うように予算を確保できない難しさがあり、その枠の中では十分に工事を進捗させているといえる。
- ③ 継続する事業であり、予算、区画整理事業、自然環境等、色々な対応もあるので、多少の見直しも考えながら進めてもらいたい。

令和2年度外部評価シート【事務事業評価編】

事業名			
担当部名		担当課	

評価項目		評価項目の説明	市の評価	委員の評価	各項目の評価
① 必要性	市民ニーズ	・市民からの要望が多いか ・社会情勢の変化に対応しているか ・利用者や対象者の減少など、事業の必要性が薄れていないか ・市が事業を廃止・休止した場合、市民に与える影響はないか ・生活水準の維持・向上に寄与しているか			①必要性 高 ← 5 4 3 2 1 → 低
	安全・安心				
	生活の安定				
	その他				
② 目標達成度	目標の達成度	・目的(目標)は適切か ・事業実施における成果は上がっているか ・市民満足度は高いか ・希望どおりの効果が得られたか ・事業の達成度を測る指標の設定は適切か			②目標達成度 高 ← 5 4 3 2 1 → 低
	活動指標・評価指標				
	成果の向上性				
	その他				
③ 実施内容・方法	費用対効果	・効率化が図られているか ・最少の経費で最大の効果が得られているか ・事業(国、県、市、民間、指定管理者等)は適切か ・事業の進め方や手続きが適切か ・スケジュールどおり進められたか			③実施内容・方法 高 ← 5 4 3 2 1 → 低
	実施主体				
	手段				
	その他				
④ 公平性	サービスの優位性	・事業の意義・目的が市民の大部分に及ぶか ・サービスが一部の市民に偏っていないか ・サービスが一部の市民に偏っている場合、サービスに応じた負担(使用料や手数料等)を支払っているか			④公平性 高 ← 5 4 3 2 1 → 低
	サービスの対象者				
	受益者負担				
	その他				

⑤今後の方向性

☐ : 重点化
 ☐ : 現状維持
 ☐ : 縮小
 ☐ : 休止・廃止
 ☐ : その他

⑥総合評価

(評価の理由)	市の評価	委員の評価	⑥総合評価
			⑥総合評価 高 ← 5 4 3 2 1 → 低

評価委員氏名（ ）

評価の理由（評価を行った際の理由についてご記入ください）	
① 必要性	
② 目標達成度	
③ 実施内容・方法	
④ 公平性	
事業に対するご意見・ご提案等	

令和２年度外部評価シート【年次事業評価編】

施設名				
評価項目	評価項目の説明	市の評価	委員の評価	各項目の評価
①開館時間	開館予定日、開館時間は守られているか			① 高 低 ← 5 1 → 54321
②管理執行体制に関する事項	業務を遂行するための必要な職員は確保されているか			② 高 低 ← 5 1 → 54321
	業務の処理に適した執行体制や処理過程におけるチェック機能が確保されているか			
	業務に従事する職員は、関係法令を遵守しているか			
③個人情報の保護	八潮市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱われているか			③ 高 低 ← 5 1 → 54321
	個人情報の管理及び取り扱いに係るマニュアル等の作成がなされているか			
④利用者への対応及びサービス等の向上	事業計画に基づいた行事は行われているか			④ 高 低 ← 5 1 → 54321
	利用者へのアンケート調査などを実施し、自己分析や業務改善を行っているか			
	市民からの苦情等のトラブルの対応は適切に行われているか			
	職員育成のための研修は行われているか			
⑤利用許可業務	利用料金は適正に設定されているか			⑤ 高 低 ← 5 1 → 54321
	利用料金の減免の手続きは適正に行われているか			
	利用料金の徴収は適正に執行されているか			
	利用者の公平な選考を行っているか			
⑥施設設備及び物品の維持管理	各部の施設維持管理が良好な状態に維持されているか			⑥ 高 低 ← 5 1 → 54321
	施設の改修・修繕は市と協議の上で行われているか			
	施設の保安管理が適切に行われているか			
	清掃業務等が適切に行われているか			
	安全衛生管理に配慮した業務運営、管理がされているか			
	物品（備品）の管理は適切に行われているか			
⑦経費の執行管理	経費を効率的に運用する工夫はされているか			⑦ 高 低 ← 5 1 → 54321
	経費を適正に執行管理するための体制が確保されているか			
	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか			
	経費に係る経理規定等の整備が行われているか			
⑧その他の事項	業務の一括委託などは行われていないか			⑧ 高 低 ← 5 1 → 54321
	賠償保険に加入しているか			
⑨総合評価	（評価の理由）			⑨ 高 低 ← 5 1 → 54321

担当部名		担当課	
評価の理由（評価を行った際の理由についてご記入ください）			
①開館時間			
②管理執行体制に関する事項			
③個人情報の保護			
④利用者への対応及びサービス等の向上			
⑤利用許可業務			
⑥施設設備及び物品の維持管理			
⑦経費の執行管理			
⑧その他の事項			
事業に対するご意見・ご提案等			

八潮市外部評価委員会委員 名簿

	氏 名 (敬称略)	任用期間
委 員 長	島根 秀行 (元八潮市代表監査委員)	令和元年7月1日から 令和3年6月30日まで
委 員 長 職務代理	若尾 岳志 (獨協大学法学部教授)	令和元年7月1日から 令和3年6月30日まで
委 員	清水 努 (税理士)	令和元年7月1日から 令和3年6月30日まで
委 員	竹本 美恵子 (八潮市商工会女性部長)	令和元年7月1日から 令和3年6月30日まで
委 員	秋元 理香 (公募)	令和元年7月1日から 令和3年6月30日まで